



R6.7月「GBNet 福岡」設立

令和7年11月27日

循環型社会推進課
直 通：092-643-3381
内 線：3494
担 当：高木

GBNet 福岡の取り組みが全国知事会「先進政策大賞」を受賞！ ～国内初のEVバッテリー資源循環モデル構築に向けた取り組みが高く評価～

新たな国産EVが続々と市場投入される中、福岡県は、県が主導して設立した官民連携組織「グリーンEVバッテリーネットワーク福岡（GBNet 福岡）」において、全国初となる使用済EVバッテリーの資源循環システム「福岡モデル」構築に向けて先進的な取り組みを推進しています。

この度、官民による強固な推進体制で「サステナEVリース事業」といった具体的な実証を実施しているGBNet 福岡の取り組みが高く評価され、全国知事会の先進政策バンク「先進政策大賞」（第1位）に選定されました。

福岡県は、本取り組みを通じて、EVバッテリーの製造拠点化や新たな地域産業の創出といった様々な効果が期待される「福岡モデル」の全国への波及を目指し、国内の資源循環をリードしてまいります。

1 受賞した取り組み（GBNet 福岡の取組）

- ・官民連携組織「GBNet 福岡」を設立し、EVバッテリーに含まれるレアメタルの海外流出を抑制し、国内の資源循環モデル「福岡モデル」構築に向けた多様な実証を実施。
- ・経済安全保障上のリスクをチャンスに変え、資源循環と地域経済活性化を同時に目指す。

現状・課題

- バッテリー製造に必要なレアメタルの海外依存度（リチウム・コバルト・ニッケル）

100%

※特に製錬工程は中国に依存

- EV普及に伴いバッテリー排出量が増加

- 中古EVの海外流出割合

約83%

※日本総合研究所 推計

- 欧州はバッテリー原材料への再生材使用率規制を導入（例：リチウム再生材使用率）

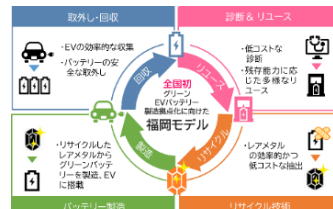
6%（2031年8月以降）

福岡県の先進的な取組

全国知事会・先進政策大賞

- 官民連携組織GBNet 福岡を設立

使用済EVバッテリーの資源循環モデル「福岡モデル」構築を目指す



- 自治体として全国初！サステナEVリース事業を開始



期待される効果

～環境と経済の好循環～
持続可能な社会の実現

- 中古EV海外流出抑制

- リユース蓄電池市場創出

- リサイクル活性化

これらにより、次のことが期待

- バッテリー資源循環の促進
- 地域経済活性化・雇用創出
- 脱炭素の促進（再エネの最大利用）
- 防災・減災（レジリエンス強化）

2 全国知事会「先進政策バンク」

(1) 目的

都道府県同士がそれぞれの先進的な取り組みを提案・共有し合い、良いものを広げるとともに、切磋琢磨により創造性豊かな発想につなげる情報提供の場として活用することを目的にし、インターネットを通じて事例の収集及び閲覧、分野別や団体別などの分類による検索を行えるようにしたもの。

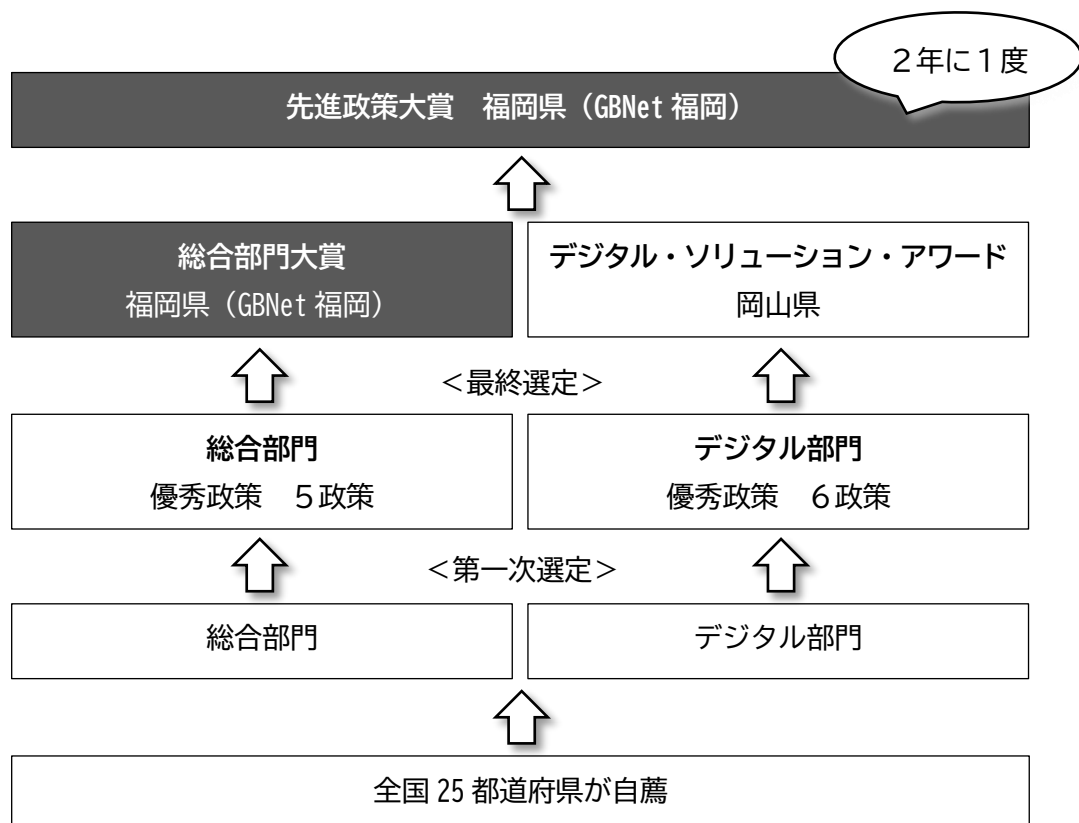
(参考) 先進政策創造会議-全国知事会

(<https://www.nga.gr.jp/bank/kaigi/index.html>) 参照



(2) 先進政策大賞

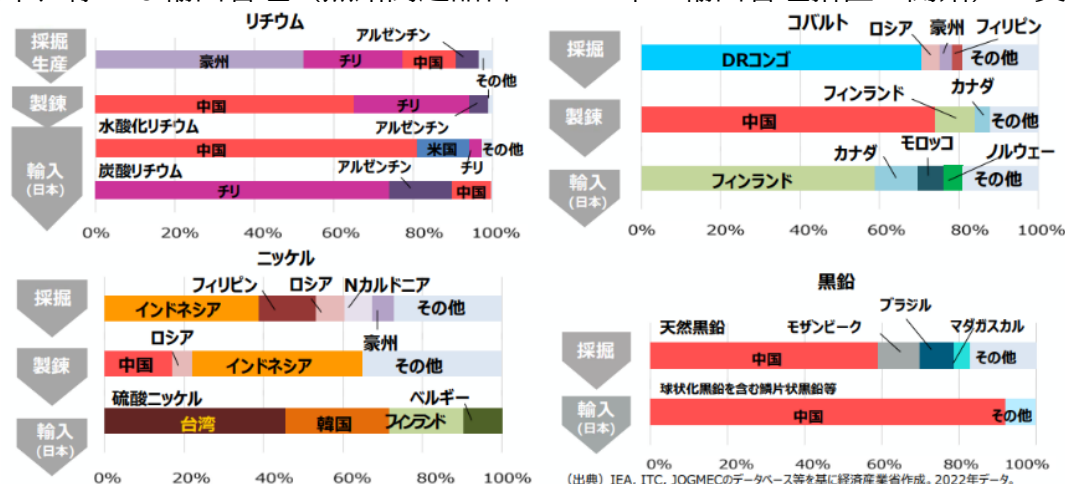
- ・令和7年度は、各都道府県による自薦及び第一次選定を経て、総合部門5政策とデジタル部門6政策の優秀政策が選定された。
- ・これらの優秀政策の中から、全国知事会地方自治政策センター（頭脳化センター専門委員等）による最終選定により、各部門の最優秀政策を決定。その中でも特に優秀と認められる政策を「先進政策大賞」として選定。（令和3年度から2年に1度選定）
- ・福岡県のGBNet福岡による取り組みが、「先進政策大賞」及び「総合部門大賞」を受賞。



(参考)

○ 重要鉱物のサプライチェーンリスク

- ・ E Vバッテリーの原料であるリチウムやコバルト、ニッケルといった重要鉱物は、特定の国へ過度に依存。特に日本が、多くの重要鉱物の製錬工程を依存する中国は近年、様々な輸出管理（黒鉛関連品目：2023 年に輸出管理措置を開始）を実施。



○ 使用済E Vバッテリーの排出量が今後急速な増加見込み

- ・ E Vシフトの進展に伴い、使用済E Vバッテリーの排出量は今後急速に増加する見込み。国内でバッテリー資源を循環させるシステムの早急な構築が喫緊の課題。

○ G B N e t 福岡

- ・ E Vバッテリーの資源循環システムを全国に先駆けて構築するため、福岡県が主導し昨年7月に官民連携組織「グリーンE Vネットワーク福岡（愛称：G B N e t 福岡）」を設立。自動車メーカー、リサイクル業者、研究機関など、多岐にわたる 38 企業・4 団体が参画（設立当初：17 企業・4 団体）。

○ E Vバッテリー資源循環の「福岡モデル」

- ・ G B N e t 福岡が目指す、使用済E Vバッテリーの「回収」「リユース」「リサイクル」「再製造」の一連の工程を地域内で完結させる資源循環モデル。このモデルでは、レアメタルの安定供給確保による経済安全保障への貢献、C O₂ 排出量削減、そして新たな地域産業の創出という様々な効果が期待される。

○ サステナE Vリース事業（中古E Vリース事業）

- ・ E Vバッテリーの国内資源循環には、国内で安定してバッテリーを回収する必要がある。現状、中古E Vの多くが海外へ輸出されているという課題の解決に向けて、国内での中古E Vの利用を推進するため、福岡県は自治体としては全国初の中古E Vリース事業を本年8月から開始。
- ・ 本事業では募集開始後数日で、募集枠を上回る多くの申し込みがあり、関心の高さが示された。本事業により、リース満了後のE Vバッテリーを確実に回収し、次のリユース・リサイクル工程へと繋げていく。